



高麗中学校だより

日和田

令和5年・1学期終業式号

文責：大里 治泰

学校教育目標 よく学び 心豊かに たくましく

ミラクル高麗中 奇跡を起こせ！

よさや取り柄を伸ばす夏休みに！

1学期を振り返ると旅行的行事、生徒会委員会活動、大会等を通して、仲間と協働し成長した生徒が多かったと感じます。

これは、地域、家庭、学校の温かい見守りや支援を受けられる環境にあって、成長しようとする生徒の強い意志があったからこそのことと思います。

さて、明日から夏休み。夏休みしか出来ないこと、夏休みならではの学びを計画し、よさや取り柄を伸ばす夏休みにしてください。時間とチャンスは皆に平等。頑張れ高麗中生、自らの手でミラクルをつかむ夏に！



元に戻す？新たに創出？

コロナ感染症が5類に位置付けられたことに伴い、様々な対応が緩和されました。一番多い対応がコロナ前に戻すことです。

しかし、高麗中ではコロナ禍での経験を踏まえ、単に戻すという発想を止め、新たに創出する方向に舵を切りました。

右上の写真はそんな中での一コマです「おいしく楽しい給食の時間にするために」どのような配置で給食を食べれば良いのか？時間をかけて話し合い、試験的に幾つものパターンで給食を食べています。結論はまだ先になりそうですが、全員が納得できる最適解が見つかることを願っています。元に戻すではなく新たに創出する、高麗中の目指す道です。

高麗中検定 ちょびコマ

高麗中の伝統である「高麗中検定」。中学生に身に付けて欲しい基礎問題を中心に出題し合格を目指す。検定はレベル1（小学校程度）からレベル3（中2程度）まで。

今年度はレベル1を全員が合格するレベルとし、問題数の削減、合格ラインを8割から7割に下げるなど変更しました。

さらに、検定一週間前から朝学活で実施する「ちょびコマ」を導入し、タブレット上で問題練習をすることにしました。

本番の検定では「ちょびコマ」で練習した問題から多くを出題し、合格率アップを目指そうと考えています。ちょびコマから高校入試へ…目指せレベル1全員合格。

高麗の風景

・タブレットによるプレゼン？手作りの掲示物？

先日1年生が校外学習のまとめの発表会を行っていました。どの班もスライドによる充実したプレゼンテーション。入学して本格的に使い始めたタブレットPCを自由自在に使いこなす様に、生徒の適応力、応用力の高さを感じました。一方、2年生は進路学習で高等学校調べをしました。手作りの掲示物をチームで作成し学年室に展示。調べたことが「見たいときに」見られる工夫がされています。プレゼンか掲示物か？アナログかデジタルか？目的に応じて選択していることの何と素晴らしいことか！各学年の工夫に拍手です。

・当たり前のように

期末テスト初日の放課後、教科係がクラスの提出物を抱えて職員室に持ってきました。どのクラスの提出物も、よく見ると出席簿順に丁寧にまとめられていました。「3年生は自然と出来ています。」との話も聞こえてきます。学年が上がるにつれて成長する。そして、こんなさりげない気遣いができるのが、高麗中生の「よさ」なんだと思いました。